

令和7年度 獨協医科大学公開講座

栃木県民カレッジ連携講座(健康スポーツコース) 後援: 栃木市、栃木市教育委員会

1. 募集定員 各回80名
2. 受講料 無料
3. 会場 栃木市大平健康福祉センター(ゆうゆうプラザ) 会議室
4. 住所 栃木市大平町西野田666-1
5. 申込方法 FAX(裏面のFAX申込書) または右上のQRコードにてお申込みください。
6. 申込先 獨協医科大学地域共生協創センター FAX 0282-86-1300



1

1回目 11月5日(水)13:30~15:00

第1部

『再生医療最前線』

～変形性関節症は再生医療でどこまで治せるか?～

変形性関節症は、関節痛の最も多い原因であり、軟骨のすり減りによって痛みや可動域の制限を引き起こします。従来の治療に加え、近年は多血小板血漿(PRP)療法などの再生医療の応用が進み、普及してきています。さらに、膝関節軟骨損傷に対する再生医療である自家培養軟骨移植の応用も期待されています。本講演では、変形性関節症に対する再生医療がどこまで有効か、現状と限界、そして今後の展望について解説いたします。



整形外科
講師
瓜田 淳

第2部

『再生医療最前線』

～脂肪幹細胞による軟部組織再建の可能性～

近年、再生医療が実用化されてきており、実際の治療に普及し始めています。中でも脂肪組織は幹細胞の安定した供給源として注目が集まっています。形成外科では皮膚、軟部組織を中心とした外観・機能に対する治療を行っています。今回、脂肪由来幹細胞を用いた再生医療による、軟部組織欠損や放射線照射後後遺症に対する治療の可能性について、わかりやすくお話ししたいと思います。



形成外科
准教授
梅川 浩平

2

2回目

11月19日(水)13:30~15:00

『障害者スポーツを応援しよう!』

障がい者にとってスポーツは、健常者と同様、心身の健康を維持するほか社会と関わりを持つための大切な手段の一つです。それに関わらず、障がい者がスポーツする時間は健常者の半分以上と少なく、世間の障がい者スポーツへの関心は低い現状です。

障がい者スポーツには、見る人々を鼓舞し社会を変える力があります。障がい者スポーツに関心をもつことは、私たち自身が元気づけられるとともに、より良い社会を作ることに繋がります。本講演では視覚障がい者スポーツとの関わり方について考えたいと思います。



眼科学
講師
鈴木 重成

3

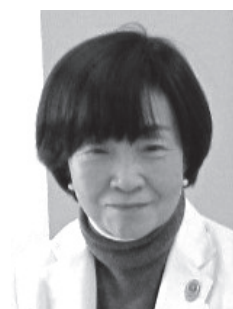
3回目

11月26日(水)13:30~15:00

『素敵に年齢を重ねるためのヒント』

～老化の基礎知識と健康運動～

医療や福祉について、メディアが超高齢化社会を取り上げる時、高齢ということに負のイメージがあると感じていませんか? 本日は、加齢に伴う心と体の変化についてお伝えし、高齢期を過ごす、すなわち、老いることは、決して負の側面だけではないことに勇気と元気をもていただきます。また、その源になる健康な体力についてお話したあと、その場でできる簡単な運動を一緒に行います。運動着でなくてもかまいませんので、体を動かしやすい服装でご参加ください。



大学院看護学研究科/看護学部看護学科
特任教授
高瀬 佳苗

先着順で受付し、定員になり次第締切となります。
受講決定のご連絡は参加券(はがき)の発送をもって代えさせていただきます。

1講座からお申し込みいただけます。

獨協医科大学公開講座 FAX申込書

以下の項目に必要な事項をご記入の上、FAXにて送信してください。

※1世帯につき2名までお申込みいただけます。

①フリガナ		②フリガナ	
①氏 名		②氏 名	
住 所	〒		
電話番号			
メール アドレス	ご記入いただくと、次年度の案内をメールでお送りいたします。 (携帯電話のキャリアメールの場合は「@dokkyomed.ac.jp」が受信できるように設定してください)		
希望 講座	参加を希望する講座に☑を記入してください。(複数申込可) ☐ 11月5日(水) 再生医療最前線 ～変形性関節症は再生医療でどこまで治せるか?～ 再生医療最前線 ～脂肪幹細胞による軟部組織再建の可能性～ ☐ 11月19日(水) 障害者スポーツを応援しよう! ☐ 11月26日(水) 素敵に年齢を重ねるためのヒント ～老化の基礎知識と健康運動～		
備考			



獨協医科大学 地域共生協創センター

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

FAX番号 0282-86-1300